様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日　2025 年　1 月　17 日

１．職名・氏名　　准教授・國崎大恩

２．学位　学位　修士（人間科学）、専門分野　人間科学、授与機関　大阪大学、授与年 2005 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ・教育原理（2 単位）1 年次 ・教師論（2 単位）1 年次 ・教育社会学（2 単位）1 年次 ・教育史（2 単位）1 年次 ・導入ゼミ（2 単位）1 年次 ・教育実習（3 単位）4 年次 ・教職実践演習（2 単位）4 年次 ・現代人権論（2 単位）1～4 年次・オムニバス科目 1 コマ
②内容・ねらい 教職課程の科目においては、文部科学省より指定されているコアカリキュラムをふまえた授業内容とし、学校教員として最低限必要となる知識・技能の習得をねらいとして授業を実施した。また、実務経験を生かし、学生には知識が実際の場面でどのように活用できるのかについても言及し、キャリア形成を見通した授業構成を試みた。 導入ゼミについては、学校教育の慣例を批判的に考察することを主な授業内容とし、ディスカッションやレポート作成等の大学生活にとって必要となる知識・技能の習得をねらいとして授業を実施した。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 教育社会学と教育史において、フィールドワークを活用した授業展開をおこなった。 〇教育社会学：福井県教育博物館、エルガイアおおい 〇教育史：福井県立こども歴史文化館、福井県立恐竜博物館 【ゲストスピーカー　0 人】 【フィールドワーク等　4 件】
(2)その他の教育活動
内容 ・教員採用試験の受験希望者に対する筆記試験・面接試験の対策

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

1.『実践につながる生徒指導・キャリア教育』、共著者有（本人担当部分：「10 章　生徒指導に関する法制度」（126～139 頁））、令和 6 年 5 月、北樹出版

2.『実践につながる道徳教育論』、共著者有（本人担当部分：全体編集、「序　道徳教育について学ぶとはどういうことか？」（2～9 頁）、「5 章 教科として道徳の授業をするとはどういうこと？」（64～75 頁）、「10 章 子どもたちは道徳科で何を学ぶのか？」（124～135 頁））、令和 6 年 5 月、北樹出版

【2 本】

②学術論文（査読あり）

1.「数理・データサイエンス教育に必要不可欠な思考のパラダイムシフト：二項対立的思考から多元的思考へ」、共著者有（中田 康夫、伴仲謙欣、村上勝彦、國崎大恩、桐村豪文、高松邦彦）、『神戸常盤大学紀要』17 号、1-9 頁、令和 6 年 3 月。

2.「高等教育におけるルーブリック普及のためのリファレンスルーブリック（R2）の作成と導入後の科目ルーブリックとの比較」、共著者有（伊藤彰、高松邦彦、伊藤響、西山慶太、桐村文豪、國崎大恩、野田育宏、伴仲謙欣、光成研一郎、村上勝彦、近藤みづき、小崎遼介、岸田あおい、北松淳平、甲矢浩喜、大森雅人、中田康夫）、『学習分析学』7 巻、1-13 頁、令和 6 年 3 月。

3.” Abduction, Abstract Degree and Urgency Matrix (ABDU-M) for Flexible/Agile Higher Education Reform Based on Eduinformatics”, 共著者有（Kunihiko Takamatsu, Ikuhiro Noda, Kenya Bannaka, Katsuhiko Murakami, Takafumi Kirimura, Taion Kunisaki, Ryosuke Kozaki, Sayaka Matsumoto, Aoi Kishida, Hibiki Ito, Akira Ito, Shotaro Imai, Kenichiro Mitsunari, Masato Omori, Masao Mori & Yasuo Nakata）, Intelligent Sustainable Systems: Selected Papers of WorldS4 2023 (Lecture Notes in Networks and Systems, vol.812), pp.471-478, pp.1-12, 2024.2.

4.” Proposing a New Field: Institutional Research (IR) Philosophy based on Eduinformatics”, 共著者有（Kunihiko Takamatsu, Kunisaki Taion, Kenya Bannaka, Katsuhiko Murakami, Takafumi Kirimura, Ryosuke Kozaki, Sayaka Matsumoto, Aoi Kishida, Hibiki Ito, Yasuhiro Kozaki, Shotaro Imai, Yasuo Nakata, Masao Mori）, IIAI Letters on Institutional Research, vol.4(LIR218), pp.1-12, 2024.2.

【4 本】

③その他論文（査読なし）

【0 本】

④学会発表等

【0 件】

⑤その他の公表実績

【0 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

・日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)、「教師の発達的変容と教育実践をめぐる関係性の動態的記述」、2021 年 4 月-2025 年 3 月。

(3)特許等取得
なし
(4)学会活動等
・Associate Editor, International Journal of Institutional Research and Management (IJIRM).

５．地域・社会貢献活動

【公開講座】
・「日本の文化と社会―私たちは『もののけ姫』をどう観るか？」、福井県立大学、令和 6 年 7 月 31 日

【その他】
・福井県立藤島高等学校図書講演会　講師、福井県立藤島高等学校、、令和 6 年 7 月
・福井県立図書館主催小学生向け読書感想文講座　講師、福井県立図書館、令和 6 年 7 月
・福井県立図書館主催小学生向け読書感想文相談会　講師、福井県立図書館、令和 6 年 8 月
・高校生・市民向け哲学イベント「第 4 回哲学やろっさ」、アオッサ、令和 6 年 6 月
・高校生・市民向け哲学イベント「第 5 回哲学やろっさ」、福井県立藤島高等学校、令和 6 年 11 月

６．大学運営への参画

(1)補職
なし
(2)委員会・チーム活動
・教職課程部会（2019 年 4 月～現在に至る） ・地域連携・広報委員会（2023 年 4 月～現在に至る） ・予算委員会（2022 年 4 月～現在に至る） ・新学部新設に伴う教職課程認定の申請作業
(3)学内行事への参加
なし
(4)その他、自発的活動など
なし